

## 1 学校の教育目標

人間尊重の精神を基盤とし、多様な背景や文化、年齢、価値観をもつ生徒一人ひとりを大切にしながら、社会の中で自分らしく生き、主体的に学び続ける力を育成するとともに、地域や社会から信頼される学校づくりを推進する。

- 自ら学び、考え、行動できる生徒
- 思いやりと多様性を尊重できる生徒
- 心身ともに健康で、前向きに生きる生徒

## 2 夜間学級の指導目標

年齢・国籍・生活経験等、多様な背景をもつ生徒の実態を踏まえ、互いを尊重し合い、安心して学ぶことのできる教育環境を整える。

また、「学び直したい」という思いを大切に、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を通して、基礎的・基本的な学力の定着と、自立して社会を生き抜く力の育成を目指す。

- 基礎的・基本的な学力を身に付け、自信をもって学ぶ生徒を育成する。
- 多様な文化や価値観を認め合い、互いに支え合う豊かな人間性を育成する。
- 学校・家庭・地域・関係機関と連携し、安心して生活できる力を育成する。

## 3 学校経営の基本理念

「誰一人取り残さない教育」の実現を目指し、生徒一人ひとりの人生や学びの背景に寄り添いながら、「明るく 楽しく 元気よく」学べる学校づくりを推進する。

また、多文化共生社会を生きる力を育み、個別最適な学びと協働的な学びを充実させることで、生徒が自らの可能性を広げ、未来へ向かって歩み続けることのできる学校づくりを行う。

## 4 目指す学校像

生徒が安心して通い、教職員が誇りと情熱をもって教育活動に取り組み、地域・保護者・関係機関から信頼される学校を目指す。

- (1) 生徒一人ひとりが自分らしく安心して学び、笑顔で通うことのできる学校
- (2) 教職員が互いに支え合い、チームとして生徒の学びと成長を支える学校
- (3) 地域・関係機関との連携を深め、多様性を尊重する開かれた学校

## 5 目指す生徒像

- (1) 主体的に学ぶ生徒
  - ・学ぶ喜びを感じ、自ら進んで学習に取り組む。
  - ・自分の考えをもち、表現し、行動することができる。

(2) 他者を尊重し、支え合う生徒

- ・互いの違いや文化を認め合い、思いやりをもって接する。
- ・仲間と協力しながら学校生活を送ることができる。

(3) 前向きに生きる生徒

- ・自分を大切にし、健康的な生活を送る。
- ・夢や目標に向かって粘り強く努力する。

6 本校（夜間学級）の教育の特色

- (1) 多様な学習歴・生活経験をもつ生徒に対応するため、基礎・基本を重視した少人数指導を行う。
- (2) 日本語指導を必要とする生徒に対して、日本語習得を基盤とした学習支援を行う。
- (3) ICT 機器やデジタル教材を活用し、「分かる授業」「できる授業」を推進する。
- (4) 多文化共生の視点を大切にし、国際理解教育や人権教育を推進する。
- (5) 昼間部や地域との交流を通して、社会とのつながりを深める教育活動を行う。
- (6) 生徒一人ひとりの実態に応じた教育相談体制を充実させ、安心して学べる環境づくりを行う。

7 学校の教育目標を達成するための方針と主な施策

(1) 未来社会を主体的に生きる力を育成する

- 多様な文化や価値観に触れる学習活動を通して、国際理解を深める。
- ICT を活用し、情報活用能力の育成を図る。
- キャリア教育や体験活動を通して、自立する力を育成する。
- 地域や社会とのつながりを意識した教育活動を推進する。

(2) 学力向上を図る取組を推進する

- 基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- 習熟度や実態に応じた個別最適な学びを推進する。
- 日本語指導の充実を図る。
- 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善を推進する。
- ICT 機器を効果的に活用した授業づくりを行う。

(3) 豊かな心を育成する教育を推進する

- 人権教育・道徳教育の充実を図る。
- 生徒理解を基盤とした教育相談を充実させる。
- 多様性を認め合う学校風土を醸成する。
- 生徒会活動や学校行事を通して自己肯定感を育む。
- 「明るく 楽しく 元氣よく」学校生活を送ることのできる環境づくりを行う。

(4) 健康の保持増進と安全教育を推進する

- 心身の健康づくりに関する指導を充実させる。
- 年齢や実態に応じた保健体育活動を推進する。
- 防災教育・安全教育を計画的に実施する。
- SC・SSW・関係機関との連携を図りながら支援体制を充実させる。

(5) 魅力ある教育環境づくりを推進する

- 安全・安心で落ち着いた教育環境を整備する。
- ICT環境の充実と効果的活用を推進する。
- 教職員研修を充実させ、授業力・指導力向上を図る。
- 働き方改革を推進し、組織的な学校運営を行う。

(6) 学校・家庭・地域・関係機関との連携を推進する

- 地域・関係機関との連携を深め、生徒支援を充実させる。
- 夜間中学校の教育活動について積極的に情報発信する。
- ボランティアや地域人材を活用した教育活動を推進する。
- 生徒が地域社会の一員として活躍できる機会を創出する。

8 組織運営と学校予算の活用

- (1) 情報共有を徹底し、組織的な学校運営を推進する。
- (2) 教職員一人ひとりが経営参画意識をもち、協働的に学校運営を行う。
- (3) 教育活動の充実に向け、効果的・計画的な予算執行を行う。
- (4) ICT活用やペーパーレス化を推進し、業務改善を図る。

9 教職員のサービスの厳正と健康管理

- (1) 教育公務員としての使命と責任を自覚し、服務規律の徹底を図る。
- (2) 事故防止研修・人権研修を計画的に実施する。
- (3) 心身の健康保持とワーク・ライフ・バランスの推進を図る。
- (4) 風通しのよい職場環境づくりに努め、教職員同士が支え合う組織づくりを行う。